

令和7年産 もっと安心農産物 春夏にんじん栽培暦

東庄そ菜園芸組合露地部会 もっと安心春夏にんじん生産グループ

1. 土づくり

完熟堆肥又は緑肥の施用

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥 料 名	成 分	施 肥 量
基 肥	①かとりになんじん配合928	9-12-8 (有機態窒素 1.5%)	130 kg/10a 以下
	②スーパーになんじんペレット	6-8-8 (有機態窒素 3.6%)	240 kg/10a 以下
	③有機化成 NN121号	10-12-10 (有機態窒素 1.5%)	110 kg/10a 以下
	④根菜専用026	10-12-6 (有機態窒素 1.1%)	110 kg/10a 以下
	⑤レオユーキF	9-12-9 (有機態窒素 1%)	100kg/10a 以下
	苦土重焼燐	0-35-0 (苦土 4.5%)	40 kg/10a
	苦土石灰 (粒)	苦土 10% アルカリ 55%	100 kg/10a

※基肥に①かとりになんじん配合928、②スーパーになんじんブリケット、③有機化成 NN121号、

④根菜専用026、⑤レオユーキFのいずれかを施用する。

3. 防除 **化学合成農薬使用総成分回数は6回以内**

(但し、ポリオキシシン AL 水和剤、Zボルドー、ゼンターリ顆粒水和剤はカウントしない。)

月	管理 作業	薬 剤 名	希釈倍数 ・ 処理量	対象病害虫	備 考 (耕種的防除の実施等)
11 月下旬	播 種 換気初め 間引き トンネル 除去	②フォース粒剤(播種前) ダイアジノン粒剤5 (播種前) ユニフォーム粒剤 (播種前)	12kg/10a 6 kg/10a 9～18 kg/10a	ネキリムシ類 しみ腐病	発芽を良好にする為、土壌水分を 十分に確保してから播種作業を 行なう。 播種期間は、12 月上旬から 2 月 下旬までに行なう。 早めに換気作業を行ない病害の 発生を防ぐ。 降雨が多い場合は、黒葉枯病対策 として、 ポリオキシシン AL 水和剤 500 倍 (収穫 7 日前迄) 又は アミスターオブティフロアブル 1000 倍 (収穫 21 日前迄) を散布する。 ヨトウムシ防除には ⑤ランネート 45 D F 1000 倍 (収穫前日迄) アブラムシ防除には アドマイヤー顆粒水和剤 10,000 倍 (収穫 3 日前迄) を散布する。 ハスモンヨトウの防除には、ゼンターリ顆粒水和剤 1000 倍 (収穫前日迄) を散布する。 しみ腐病予防と良品生産の為、適 期に収穫する。
12 月上旬		③ゴーゴーサン細粒剤 F、 ゴーゴーサン乳剤 30、 トレファノサイド粒剤 2.5 トレファノサイド乳剤 クレマート U 粒剤 クレマート乳剤 (播種直後)いずれか 1 剤	4～5kg/10a 400ml/10a 4～6kg/10a 300ml/10a 4～6kg/10a 400ml/10a	畑地一年生雑草	
中旬					
下旬					
1 月上旬					
中旬		①センチュウ類対策として、 ・ネマトリンエース粒剤 (20kg/10a 播種前)			
下旬					
2 月上旬					
中旬					
下旬					
3 月上旬					
中旬					
下旬					
4 月		④ベルコート水和剤 (収穫 14 日前迄) ストロビーフロアブル (収穫 7 日前迄)	1000 倍 2000～ 3000 倍	黒葉枯病 黒葉枯病	
5 月	収穫				
6 月					
7 月					

☆みんなで守ろう生産基準